

登録コード	HS411000	開講年度	2026				
授業題目	進化人類学特論					担当教員	松本 卓也
英文授業名	Evolutionary Anthropology					副担当	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HS加, 2025HS加, 2024HS加, 2023HS加						
	【専攻】理工学系の専門分野における深い知識・卓越した技能					社会集団を形成する動物の進化を、個体・社会両方の次元で理解し、生物種としてのヒトを相対化する。進化の理論と生物多様性の概念を理解し、進化に関する言説の誤謬を正せるようになる。	
(2)詳細 /Detailed information	人類の社会、生態、行動面での特徴を、その進化過程とともに理解する。おそらく研究者自身がヒトであるために、進化人類学に関する言説はヒト中心主義的な「偏り」を有するものになりがちである。本授業では、(人類を含む)社会集団を形成する動物の進化を、個体・社会両方の次元で理解し、ヒトを相対化することを目標とする。さらに、進化の理論と生物多様性の概念を理解し、進化に関する言説の誤謬を正せるようになることを目標とする。						
(3)授業の概要 /Overview of course	「自然におけるヒトの位置」を知るために、野生霊長類、とくに系統的に人類にもっとも近縁な大型類人猿の社会・生態・行動に関する知見を中心に、形質人類学・生態人類学・比較認知科学の知見を交えて、人類の進化史を検討する。講義の中心的テーマは、社会の進化、人間家族の起源、性の進化、文化の起源、心の進化、攻撃性、協力行動、言語の起源などについて解説し、最近論議されている説を検討する。						
(4)授業計画 /Course plan	1) 日本の霊長類学 2) 社会 : 社会組織と社会構造 3) 社会 : 離合集散性 4) 社会 : 父系社会と家族 5) 社会 : 障害 6) 性 : 性行動とその進化 7) 性 : 多様な性 8) 食 : 狩猟と肉食 9) 食 : 調理 10) 文化 : 環境と文化 11) 文化 : 12) 言語の起原 13) 攻撃についての行動学 14) 脳と心と身体に関する理論 15) まとめ						
(5)成績評価の方法 /Grading/evaluation method	講義中に実施する演習形式での論議、レポートなどにより評価する。						
(6)成績評価の基準 /Grading/evaluation criteria	評定については次の評価基準を基本とする。 秀: 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優: 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良: 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可: 授業の達成目標の水準にある 不可(D): 授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可(F): 授業の達成目標の水準にない						
(7)事前事後学習の内容/Prep and review work	関連分野の専門書や学術論文を読み、理解を深めることを勧める。						
(8)履修上の注意 /Notes	開講に先立ちガイダンスを実施する。受講希望者は担当教員と連絡を取ること。連絡が無い場合は講義に参加することはできない。						
(9)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	直接訪問および電子メールにより、随時受け付ける。						
(10)授業の形式 /Course format	セミナー、あるいは輪読形式で進める。						
【教科書 /Textbook(s)】	指定しない。						
【参考書 /Reference work(s)】	指定しない。						